

'13.9

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行人 兵庫県商工会連合会
代表者 木南岩男
発行人住所 神戸市中央区花隈町6番19号
☎078(371)1261(代)〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 安 平 一 志
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植
会員の購読料は会費に含まれています

第673号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成25年度 スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



▲しょうゆの花房を支える従業員の皆さん(右から2人目は花房靖裕社長)

Contents

■県連合会Letter 2~3頁

- ・県青連第2回幹部講習会・主張発表大会
- ・第1回管理者研修会・事務局連絡会議
- ・各研修会開催
- ・商工青年同友会役員会
- ・第1回共済事業委員会

■あなたのまちの元気な企業(豊岡市) 4頁

■商工会Letter 5~6頁

- ・うっきょうきフェスティバル……(神戸町)
- ・防災リーダー育成事業(篠山市商工会女性部)
- ・猪名川町交流都市づくりミーティング(猪名川町)
- ・コラム「ひょうご支援の扉」
- ・なごみの灯り(豊岡市商工会女性部竹野支部)
- ・どろんこまつり……(稲美町商工会青年部)
- ・きんたくんてっぺんプロジェクト……(川西市商工会青年部)

国産大豆の調達難や価格高騰にもかかわらず「安心して食べられるものをお客様に」との花房社長のものづくりへの熱いポリシーと、同社の企業努力により、消費者に手の届きやすい値段で販売されている。(詳細は4頁)

同社の特徴は、「安心・安全・おいしさ」をモットーに原料に国産大豆と国産小麦を100%使用。原材料へのこだわりと、天然醸造による一貫した生産。

く刺身醤油を手がけたとされる醤油・味噌・麴など発酵食品では老舗企業である。

伝統と新しい感性の調和を目指して

有限会社 花房商店 (豊岡市)

花房商店(代表取締役 花房靖裕氏)は天保12年(1841年)、江戸時代には北前船で栄えた竹野町(現・豊岡市竹野町)に「かうじや(麴屋)」として創業。但馬地方で一早く刺身醤油を手がけたとされる醤油・味噌・麴など発酵食品では老舗企業である。

連青 最優秀賞の田岡君(豊岡市)近畿大会へ 第19回主張発表大会・第2回幹部講習会を開催



▲最優秀賞の田岡聖司君

主張発表大会では、県下各地区代表の7人がそれぞれ「青年部活動や地域振興・まちづくり」をテーマに熱弁を振るった。最優秀賞には、但馬地区代表(豊岡市商工会青年部)の田岡聖司君が受賞。9月11日に姫路市で開催される近畿ブロック大会に兵庫県代表として出場する。

県商工会青年部連合会(和島将志会長)は、7月2日〜3日、三田市・三田ホテルにおいて、第19回主張発表大会、第2回幹部講習会を開催し、県下各青年部幹部等150人余が参加した。

また、幹部講習会では、三田市の福助グループ(尙福助)代

ナンバーワンを目指して!

第1回商工会管理者研修会・事務局連絡会議

県連合会は、7月10日〜11日、上郡町「上郡ビュアランド山の里」で第1回商工会管理者研修会及び事務局連絡会議を開催し、29人が参加した。

まず研修会では、「職員とのコミュニケーション 信頼関係を生む7つの行動(アクション)」をテーマに本会チーフアドバイザー

ザーの大谷芳弘氏が講演。管理者として、部下職員とのコミュニケーションの重要性と尊敬できる部下をつくることを強調した。

引き続き、事務局連絡会議を開催し、県連合会から14項目について説明した後、質疑と意見交換が行われた。

表取締役・福西文彦氏が「楽しい挑戦 起業から今まで」若さは最高の武器」をテーマに講演を行った。

福西氏は、八百屋での修業から起業にいたるまでの経緯と、自ら農園を持ち、地産地消にこだわった商品を発信し、地域に根差した事業展開の話に参加者に熱く語った。



▲講師の福西文彦氏

主な意見としては、「中小企業関連の補助金が多くあってわかりづらい」、「今後の職員給与体系がどうなっていくのか」、「合併後の職員設置定数がどうなるのか」などであった。

最後に県連合会・木南会長が挨拶で、「それぞれの商工会で何かひとつでも県下で1番になれるものをつくって欲しい」という今後の商工会のあり方」について述べた。

2日目は、上郡町にある「い

参議院議員に

宮本周司氏



元全国商工会青年部連合会会長の宮本周司氏(石川県能美市商工会)が、7月に行われた参議院議員通常選挙(全国比例区)で当選されました。

宮本氏は、全国連の小規模企業支援強化本部長として、「小規模企業基本法の制定を目指しており、今後も、地域を支える小さな事業者が安心して経営ができるような環境づくりに尽力されます。

きいき交流ふるさと交流館」を視察し、上郡町ゆかりの大鳥圭介氏について詳しい説明を聞き、全ての日程を終了した。



▲部下とのコミュニケーションを熱心に語る大谷芳弘氏

9月のこよみ

- 2日(月)、3日(火)、19日(木) ネットde記帳研修会
- 5日(木) 容器包装リサイクル法研修会
- 6日(金) 管理職養成研修会
- 7日(土) 商工会等職員統一採用試験(1次)
- 11日(水) 近畿ブロック青年部主張発表大会
- 15日(日) 青年部ソフトボール大会
- 17日(火)、20日(金) 中小企業支援力向上研修会
- 18日(水) 商工会等職員統一採用試験(2次)
- 26日(木)~27日(金) マル経講習会
- 30日(月) 商工会管理者研修会(事務局長等研修会)

10月のこよみ

- 2日(水)、3日(木) ネットde記帳研修会
- 7日(月)、11日(金) 新基幹システム活用研修会
- 12日(土) 商工会等職員昇格試験(筆記)
- 16日(水)、18日(金) 経営支援研修会(労務関連)
- 17日(木)~18日(金) 県女性連指導者県外交流研修会
- 22日(火)~23日(水) 商工会幹部研修会
- 28日(月)~29日(火) 管理職養成研修会

私たちは、兵庫県の皆さまとともに歩んでいく、地域金融機関です。

ご融資の相談は
お気軽に「けんしん」へ



■詳しくは窓口へおたずね下さい。

兵庫信用組合

〒650-0023 神戸市中央区栄町通 3-4-17
TEL 078-391-6315
http://www.hyogokenshin.co.jp/

経営支援能力の レベルアップを 目指して

県連合会は、職員の経営支援能力のレベルアップを目指し、次の研修会を開催した。

◎商工会管理職養成研修会

7月9日、神戸市・兵庫県中央労働センターで、「商工会管理職養成研修会」を開催した。

講師に、(株)フェアウィンド代表取締役 中井嘉樹氏を招き、面談力を高めるコミュニケーションについて学んだ。

コミュニケーションを図る上で核となる「情報収集」と「情報提供」において、適切な情報提供を行うためには、相手の本質的なニーズを聞き出すことが重要であることや、質問手法をバランスよく、効果的に用いることが有効であることをロールプレイングにおいて確認した。

◎中小企業支援力向上 研修会

7月16日・17日、福崎町・福崎町商工会館で「中小企業支援力向上研修会」を開催した。

第2回役員会を開催

設立35周年記念事業など事業内容を協議

兵庫県商工青年同友会

県商工青年同友会（今北義明会長）は、7月31日、第2回役員会を開催し、企画運営委員会からの提案事項を受け具体的な事業内容について協議した。

本同友会は、昭和53年6月、全国で2番目に設立されて35周年を迎えるため、本年度には記

念事業を予定している。

また、役員会では、地域の実質的担い手である青年部OBが商工会活動に参加できる場づくりという設立当初の原点を再確認し合い、今後も青年部活動での経験と活動力を活かせるよう、組織の強化・拡充についても話し合われた。

1日目は、中小企業基盤整備機構の豊田氏を講師に招き、商工会に対して今、最も求められる支援や期待される人材について説明があった。また、県連合

会副主任チーフアドバイザー・上山修一氏からは、問題解決に効果的なフレームワークについて学んだ。

2日目は、関西国際大学人間科学部経営学科学准教授・松本茂樹氏を講師に、経営改善計画作成時のポイントについて学び、グループワークでは経営分析やフレームワークを用いた経営改善計画書を作成し、発表が行われた。

第1回

共済事業委員会を 開催

開催

県連合会は、7月1日、県商工会館において、第1回共済事業委員会を開催し、次の4議案が承認された。

- 一、平成25年度預託金残高の見直しについて
- 二、求償債権管理について
- 三、平成25年度共済推進運動について
- 四、近畿府県貯蓄共済合同キャンペーン商品の選定について

なお「近畿府県貯蓄共済合同キャンペーン」商品は、応募のあった多可町、福崎町、豊岡市から推薦された商品に決定した。

貯蓄共済合同キャンペーン商品



▲フレッシュギフト (多可町)



▲もちむぎ商品 詰め合わせ (福崎町)



▲国産丸大豆醤油・国産大豆味噌ギフトセット (豊岡市)

* 会員募集 *

商工会、青年部、女性部と共に、全世代を通して組織活動にご協力ください。

県商工青年同友会では県青連役員経験者・県内青年部の卒業部員など、一定の会員資格のある方の入会を募集しています。

詳しくは、担当者まで、お問い合わせください。

◎担当▶組織支援課(土井)

☎078-371-1363(直通)

Mail:hyogo-soshikishienka@shokoren.or.jp



最高の信頼を
めざして。

三井住友銀行

SUMITOMO MITSUBI BANKING CORPORATION

始めませんか〜新しい環境貢献〜

ひょうご「企業の森づくり」

環境への貢献のため、森林整備をお考えの企業や団体等の皆様のお手伝いをします。

- 活動フィールドの斡旋
- 森林整備についての助言・提案・技術指導
- 施業委託先の紹介

◆お問い合わせは◆
公益社団法人 兵庫県緑化推進協会 兵庫県農政環境部 環境創造局 豊かな森づくり課
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-5-18 県林業会館内 〒650-8587 神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL 078-341-4070/FAX 078-341-4071 TEL 078-362-3144/FAX 078-362-3954
URL:http://www.hyogo-green.net/

あなたのまちな元氣な企業

有限会社 花房商店 (豊岡市)

伝統ある和風文化と新しい感性の調和

温故知新

本年6月に4代目として就任したばかりの社長・花房靖裕氏は、家業を継ぐ前、CGデザイナー、エディターとしてCM、映画等の映像制作で活躍。但馬の自然を生かした醤油造りの歴史と伝統を守りつつ、前職で培ったデジタル世界との融合で、若く新しい感性による積極的な商品開発・販路開拓を展開している。

また花房社長は、生まれ育った地域の活性化なくして、自社の発展はないとの強い思いから、青年部長(旧竹野町商工会)や兵庫県のビジョン委員も経験。



▲若く新しい感性でチャレンジする花房靖裕社長



▲味はまろやかで深みがある花房の商品

安全でおいしいものを

「積極的な姿勢は「故きを温ね、新しきを知る」といった、若き経営者としてバランス感覚を感ぜさせる。」

近年、遺伝子組換えの大豆が話題になり、食への安心が高まる中、同社では他社に先駆け17年前に原材料を全て国産大豆に変えた。防腐剤を使用せず、天

然醸造による原料からの一貫生産で、新たな醤油造りに取り組んだ。

天然醸造には永い歳月をかける必要がある。中でも2年以上熟成させ、ようやく出来上がる「さしみ醤油」は、味はより一層まろやかに、香りもひきたつ。

同社では、従来の商品にとどまらず、たまご屋とのコラボレーションによる玉子かけご飯しゅうゆ「まるたん」や、専用玉子の「たまたん」など、新たな商品開発にも積極的に展開している。「本来の醤油造り」に対して妥協を許さない同社の商品は、評判が広がり、現在ではネット販売でも大人気となっている。

醤油造りは子育てのように

同社の醤油が多くの人を魅了するのはなぜか。

醤油造りは、どれほど機械管理が進んでも、但馬の気候を把握した職人の勘と経験が欠かせない、と言われる。

花房社長は、先代の社長より江戸時代から続く伝統的な製法を守り継続する一方、醸造中にはモーツァルトを聴かせることも行っている。

「親が子供に健やかに育つても



▲じっくり丁寧に作業

りたいのと同じ気持ちで、胎教に良いと言われるクラシックを聞かせ、じっくり時間をかけて熟成させている。醤油造りにおいて実際に発酵させるのは微生物。人間が出来ることは『お膳立て』だけ。『生き物』の活動のために良い環境づくりを心掛けるのが私たち『人間』の仕事です。」

品質から生産において一貫して妥協を許さない姿勢とは違った、目には見えない「微生物」への愛おしさを語る花房社長。

愛情いっぱい育った商品たちを消費者が手にしたとき感じられる温もりこそ、「しょうゆの花房」が愛される所以であろう。

オンラインワンを 目指して

本年4月には、同社のもう一つの主力商品の味噌を活用し、共働き世帯の増加などの社会情

勢にあわせて「時短料理」を望む20〜60歳代の女性をターゲットに、新しい商品作りをテーマにした経営革新計画が承認された。今後、本格的に商品化を目指している。

また、花房社長は、日本文化をもっと広めようと夫婦で「味噌ソムリエ免許」も取得。多くの人に味噌を中心とした日本の文化を広めて行きたいとの思いを巡らせている。

「今回認定された経営革新も一人ではできなかった。商工会の支援あってこそ。商工会には本来の業務である経営支援に期待している。」と語る社長。

「(花房商店は、伝統を守りつつ、若い社長のもと積極的な事業展開にとりくみ、地域になくしてはならないオンラインワン企業を目指している。」

【企業概要】

企業名/有限会社 花房商店
代表者/花房靖裕
創業/天保12年(1841)年
所在地/〒669-6201
兵庫県豊岡市竹野町竹野375
TEL:0796-47-0003 FAX:0796-47-0004
E-mail:info@syouyuhanafusa.co.jp
URL:www.syouyuhanafusa.co.jp
[しょうゆの花房]で検索

真夏のうつきょうきフェスティバル開催

― 神河町商工会 ―

神河町商工会（堀口勝久会長）は、7月27日、寺前駅前商店街で、「真夏のうつきょうきフェスティバル」を寺前駅前銀座商店会と共に開催した。



▲大抽選会

▲イベントの一幕「とんぼ道中」

また、産学連携支援事業を通じて、商店街活性化事業で連携している兵庫県立大学の学生に

地域を守る防災リーダー育成事業

― 若手後継者等育成事業 ―

篠山市商工会女性部（大上真理子部長）は7月24日、篠山市（丹南）商工会館において、地域を守る防災リーダー育成事業の3回シリーズ

の第1回目「災害の対応事例と教訓」防災は家庭から」を開催し、講師に兵庫県元副知事の齋藤富雄氏（県国際



▲講師の齋藤富雄元副知事

交流協会理事長）を迎え、阪神淡路大震災をはじめとする災害の事例をもとに、家庭や事業所

― 篠山市商工会女性部 ―

による来場者商店街活性化のアンケート調査も実施した。

この秋には、中村・粟賀町区に設立した「かみかわ銀の馬車道商店会」においても商店街活性化に向けた事業を行い、同様に県立大の支援を受ける予定。

で取組める防災について説明を行った。参加者は、齋藤氏の話しに熱心に聞き入り、過去の教訓を忘れず、防災意識の向上に役立てたいと感じた。

猪名川町交流都市づくりミーティング

地域活力増進事業

― 猪名川町商工会 ―

猪名川町商工会（安井一弘会長）は、猪名川町における交流人口拡大に向けた新しいまちづくりを考えることを目的に、7月19日に「猪名川町交流都市づくりミーティング」を開催し、77人の参加があった。

近畿大学経営学部教授 高橋一夫氏を講師に迎

え「観光まちづくりの潮流」というテーマに、観光まちづくりの取り組みに必要と考え方



▲参加者の熱心な参加は会場に満員

を、他地域の事例をふまえながら分かりやすく講演いただいた。講演終了後の参加者交流会では、各人の町づくりに対する思いなどの意見交換を行った。

今後は、9月から月1回程度ワークショップを実施し、猪名川町の「交流都市実現」に向けた具体的なアイデアを考えていく予定。

ひょうご支援の扉

正確な現状分析がすべての原点

― 芦屋市商工会 山本 和則 ―



し、その調査もしないうちに、自分の強い思いだけで店舗を借りてしまうことが多い。

創業塾で講師が参加者に有名企業のSWOT分析をさせたところ、意外な結果が出たことがあった。創業希望者の思いは、各自様々で、事業計画を作るのも大変な方がかなりいるが、現状の分析でさえ、大変であることを思い知らされた。しかし、その現状が正確に把握できないと、計画は机上の計画だけになってしまう。

昨年度、芦屋市商工会では「芦屋」ブランド調査を行った。「芦屋」という名前だけで事業を始め、現状を知らず、やがて撤退する人が多いからだ。単純に「金持ちが多い」とか、単なる名前やイメージだけでは、事業が継続できないことがこの調査で示された。

この傾向は、現在事業をしている人にも当てはまると思う。自身の事業所の現状分析が正確にできない。自分の勝手な思い込みで、「...が悪いせい」と言う。例えば、融資の面では、自分の都合の悪いことは隠して、なかなか貸してくれないという。やむを得ず経営革新計画の認定を得て、融資を受けても、それだけの計画で終わってしまい、本当の経営力向上を目指していない人が何故かいる。計画とは実行してはじめて成果が出るものである。

経営者は、できる限り正確に現状を把握し、本当にできる計画を作成し、それを、順に実行していく。そして、ときどき今まで実行してきた内容のチェックをして、修正するところがないかどうか調べ、その修正した内容でさらに行動していく。それがなかなか実行されていないので、経営が行き詰まってしまふ。経営学上での計画、実行、チェック、アクションのPDCAサイクルの実現を商工会が支援していくことが大切ではないでしょうか。

竹野の夏の風物詩 なごみの灯り

―豊岡市商工会女性部(竹野支部)―

豊岡市商工会女性部竹野支部(米田扶沙子支部長)は平成17年より、竹野海岸の流木と和紙を使って「なごみの灯り」を作製し、たけの海上花火大会の夜、玄関先や路地裏に灯りをもす作業を続けている。

今では、地域ボランティア組織が立ち上がり、イベントごとに灯りの点灯範囲が広がり、「竹野の夏の風物詩」となって地域に浸透している。

同支部では、このおだやかな灯りは地域住民の心もなごませ、観光PRにもつながる



▲竹野の夜を幻想的な雰囲気醸し出す

として、お土産用に一点物のインテリア用品として、「なごみの灯りミニ」を商品化し販売している。また、「なごみの灯り」を作る手作り体験も実施している。

川西市商工会青年部創立40周年記念事業

「きんたくんてつぺんプロジェクト」

富士登山を実施しました!

―川西市商工会青年部―

川西市商工会青年部(和島将志部長)は、7月14日、川西市のゆるキャラ「きんたくん」とともに富士登山を実施した。

本事業は同青年部創立40周年記念事業として、「きんたくん」を宣伝ツールに、世界遺産に登

録された富士山で兵庫県川西市

を全国に発信し、併せて「きんたくん」のゆるキャラランプ

り上位入賞目標を目指している。部員達(OB含む)は全国各地から集まった登山者へのPRや、登山の様子画像配信等、積極

いなみどろんこまつりを開催

―稲美町商工会青年部―

稲美町商工会青年部(藤原俊彦部長)は、7月14日、天満大池公園隣接会場で「第11回いなみどろんこまつり」を開催した。



▲泥だらけをものともせずダイブ!

当日は、大人が対象の「バレーボール大会」、小学生以下の子供が対象の「ドッチボール大会」を実施。約600名が泥だらけになりながら競技を楽しんだ。

このまつりでは、競技の勝敗に関係なくユニークなユニフォームを着ているチームに贈られる仮装賞もあり、各チームいろいろなかコスチュームを身にまとい、まつりを盛り上げるのに一役かった。

的に広報活動を行った。当日は天候にも恵まれ、参加者全員が一丸となって、



▲きんたくん PRに大活躍

富士登山を成し遂げることができ、部員同士の結束はさらに強いものとなった。

今後の街おこし等で若い力を存分に発揮し、地域に貢献していきたいと考えている。



▲プロジェクトに参加した部員達(前列左から2人目:和島部長)

あなたの未来を強くする

住友生命

新保障 **がんPLUS** 登場!

スミセイの **がんPLUS** プラス

住友生命保険相互会社 神戸事業部
〒650-0031 神戸市中央区東町126番地 神戸シルクセンタービル7F TEL:078-391-3229

ジブラルタ生命は、お客さま一人ひとりを大切に心に届くサービスをご提供いたします。

“As safe as the Rock”
～ジブラルタ・ロックのように安心～

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています

Gibraltar
ジブラルタ生命